

公益財団法人教科書研究センター『大学院生の助成金による論文』の執筆要項

公益財団法人教科書研究センター（以下「本センター」という。）で編集される教科書研究に関わる『大学院生の助成金による論文』の執筆要項は、「大学院生教科書研究論文助成事業」に適用されるものとします。執筆者の方は、本執筆要領に従って論文を作成して本センターにご提出ください。

なお、「論文」は、基本的に原著であって、他の刊行物に未発表、未投稿の論文とします。ただし、本センターの助成金で論文を作成し、すでに他所で公開している場合には、その旨を論文の末尾に記載します。

1. 「論文」などの長さ

論文の長さは、応募要領に記載されている字数等を本誌の頁数に換算するものとします。本誌の1頁の文章部分は、次の2で触れますように、横 22 字、縦 42 行で2段組です。

なお、大学院生の助成金による論文は 10,000～15,000 字となっております。図表や資料等を含めて10ページを目安としてください。図表や資料等挿入においてやむを得ない場合は12ページを上限とします。

2. 原稿の書式

原稿はA4判の縦置き横書きとして、横 22 字、縦 42 行の2段組とします。

3. 1 頁目の構成

1 頁目は、題目、執筆者名、執筆者所属名、概要、キーワードから始めて、それに続いて本文が始まるものとします。題目、執筆者名、執筆者所属名、概要は1段組（センタリング）で作成します。

（1）題目

題目は 40 字以内とします。副題がある場合、副題は 30 字以内とします。

先頭の2行を空けて題目をゴシック体で記述します。題目が2行にわたる場合、または副題がつく場合には、行間に1行を挿入します。

（2）著者名・所属機関部局名

論文題目から1行空けて著者名をゴシック体で記述します。著者名の下に著者の所属機関名および部局名を記述します。

著者が複数の場合は、横に並べて記述し、1行に記述しきれない場合には、さらにその下に著者名と所属機関部局名の行を設けます。

（3）概要

概要は 400～500字（横 40 字、縦 25 行の1段組）程度とし、研究の目的、方法、主な結果が分かるように簡潔に明瞭にまとめることとします。なお、この概要は、本センターの機関紙『センタ一通信』に載せる概要と同じものとします。

（4）キーワード

キーワードは5語以内とし、その研究の特徴を最もよく示す単語とします。キーワードの下の

行に線を入れて、この線の下から本文を2段組で書き始めます。

4. 文体

文体は口語体の「である」調とし、学術用語以外は、常用漢字ならびに現代仮名遣いを用います。固有名詞以外の外国語はできるだけ訳語を用います。必要な場合に限り、初出のところに原綴りを括弧書きで記入しておきます。

5. 見出し番号の付け方

本文は、章、節、項などに区切り、見出しをつけます。章、節、項、等には、見出し番号と標題を付します。見出しの番号は次の順とします。

章の見出し番号 1, 2, …,

節の見出し番号 (1), (2), …,

項の見出し番号 ①, ②, …

章と節については、見出し番号をつけ、行の左に書き、見出しのフォントはゴシック体とします。また、章の前は1行空けます。

項については、見出し番号をつけて、見出しとともに左端を1こま空けます。

さらに細分を要する場合の表記法については、著者に委ねます。

6. こまどり・フォント

本文は、書き出しおよび改行後の書き出し部分を1こま空け、また、見出し番号の次も1こま空けます。その他はすべて左端から書きはじめます。

読点はカンマ「,」とし、句点は読点「。」を用います。

文字の大きさは、表題は12ポイント、それ以外は10.5ポイントとします。フォントは明朝体を標準とし、斜体もしくはゴシック体等の指定のあるところは当該フォントを用います。カタカナは全角文字を用い、数字・アルファベットは基本的にTimes New Romanの半角文字を用います。

7. 表・図の番号

表及び図には、表1、表2…、図1、図2…のように通し番号をつけ、標題を付します。表の通し番号と標題は表の上側に、図の通し番号と標題は図の下側に、中央揃えで付します。標題の文字の大きさは、10ポイントとし、キャプションフォントはゴシック体、数字・アルファベットはArial体を用います。

8. 引用・参考の仕方

それぞれの学問分野の論文執筆要項に準じて記載してください。

9. 引用・参考文献の記載内容と記載順序

それぞれの学問分野の論文執筆要項に準じて記載してください。

10. 注

それぞれの学問分野の論文執筆要項に準じて記載してください。

本文中の注について、学問分野の執筆要項がない場合は、該当箇所の右肩に (1) などのように上付き記号をつけ、末尾にまとめて記載します。引用文献がある場合には、注を先に、その後に引用文献を記載します。

公益財団法人教科書研究センター「論文等」の概要

『センター通信』のための「大学院生の助成金による論文」概要

論文の概要を本センターの機関紙『センター通信』に載せる場合には、執筆要項3(3)の概要と同じものを、2段組(横25字、縦48行)に直して概要として載せることとします。

公益財団法人教科書研究センター『大学院生の助成金による論文』の論文等の提出

論文は、定められた期日までに、次の2つの形式により提出します。

(1) 印刷したもの 1部(郵送)

提出先は、次のとおりです。

〒135-0015 東京都江東区千石 1-9-28 公益財団法人教科書研究センター事務局 宛

(2) WORD形式のファイルを電子メールにて提出

メールアドレスは次のとおりです。

josei_daigakuin@textbook-rc.or.jp

公益財団法人教科書研究センター『大学院生の助成金による論文』の論文等の著作権について

(1) 論文の著作権は、論文作成者に帰属します。助成対象者が論文を提出したときは、当センターが営利を目的とせず、かつ学術及び教育の目的の範囲内で、論文(概要を含む)を教科書研究センター紀要(仮称)、機関紙『センター通信』、広報誌、当センターのホームページ等に掲載して公表・利用することについて、あらかじめ許諾したものとします。

(2) 当センターが刊行する紀要、機関紙『センター通信』等の編集著作権は、当センターに帰属します。

(3) 助成対象者が論文を当センターに提出した後に、他の団体の紀要、雑誌、ウェブ等に掲載し、公表・利用する場合には、他の団体の二重投稿、倫理違反等に十分注意してください。二重投稿、倫理違反に当たらない場合は、「当該論文は公益財団法人教科書研究センターの助成を受けたものである」ことを明記してください。